

令和5年度 第1回学校運営協議会 議事録

1 開催日時 : 令和5年6月23日(金) 14:00~15:30

2 開催場所 : 池田高等学校 会議室

3 運営協議会メンバー

運営協議会委員(委嘱委員) 5名

事務局員(校内出席者) 5名

4 内容

(1) 大阪府立池田高等学校 学校運営協議会実施要項について

(2) 令和5年度学校経営計画について

(3) スクールミッション、スクールポリシーについて

(4) 大阪教育ゆめ基金について

5 協議事項

(1) 大阪府立池田高等学校 学校運営協議会実施要項について

校長より、配付資料に基づき実施要項の説明と確認

1) (別表)「大阪府立池田高等学校 学校運営協議会」の委員名簿を、本年度の委員に更新する。

(2) 令和5年度学校経営計画について

校長より、配付資料に基づき概要説明

1) めざす学校像を新たに制定するスクールミッションを踏襲した内容に修正した。

2) 中期的目標1「授業で勝負」の項目ではとくに「対話的で深い学び」と「自学自習」に関して、授業評価アンケート上の数値目標を設定し、推進を強化したい。

3) 中期的目標2「進路保障」の項目ではとくに「現役国公立大学合格者の割合」に関して、具体的な数値目標を設定し、前年度比で上昇、または維持をめざす。

4) 中期的目標3「人間力育成」の項目ではとくに「市民としての規範意識」と「行事等における生徒の主体性」の文言を明記し、学校としての育成をめざす。

5) 中期的目標4「広報体制の充実」の項目ではとくに今年度より運用を開始したスマホアプリ情報配信サービス rakume の効果的利用を推進する。

委員より、意見・質問など

1) 学校ホームページ以外の場面で、生徒、保護者が学校経営計画に触れる機会を増やすべきではないか。

2) これまでの学校経営計画に比べると、表現が簡潔になり、現代の読み手に合わせたものに改善されている。

(3) スクールミッション・スクールポリシーについて

校長より、配付資料に基づき概要説明

・意見交換

委員カリキュラム・ポリシー(案)の(2)ICTを駆使し、知識・技能の定着に加え、思考力・判断力・表現力を育成する授業を行うとあるが、知識・技能は後ろの思考力・判断力・表現力につながっているのか。

学校つながっていない。ICTを駆使しなくても思考力・判断力・表現力を育成できる授業を行う。

委員 10代の彼らからはICTを駆使することはあたりまえであり、学校現場がICTの現状に追いついていないように思う。

委員 カリキュラム・ポリシー（案）の（3）主体性・問題解決能力・協働する力を身に付けるとあるが主語は生徒であるか。

学校 （3）のみ生徒が主語である。学校が主語となる形で決めていきたい。

委員 カリキュラム・ポリシー（案）は学校側の方針であるため教員側がどうするのか考えた方が良い。

委員 アドミッション・ポリシーについて、次のような生徒を待っています、という文はこのように言い方で良いのか。メッセージ性を求めるものであるのか。

学校 許可します、に近い意味である。

委員 求めていますという文に変更するのはどうか。

（4）大阪教育ゆめ基金について

首席 より、配付資料に基づき概要説明

- 1) 大阪教育ゆめ基金とは、一般市民が府立学校を指定し、直接寄附を行うことができるシステムである。指定された学校は寄附金を使って学校の整備に役立つことができる。
- 2) 今年度、計画申請を済ませ、2日前に寄附金募集の案内を学校ホームページ内の特設ページに記載。
- 3) 目的として、グラウンドの整備を行うために大阪教育ゆめ基金を行う。具体的には、冬場午後4時半には球技ができないほどグラウンドが暗くなるため、グラウンドにLED投光器の設置、怪我を最小限に抑えるために土の補充、整備器具の購入の3点である。LEDの設置は本館の屋上に設置を計画している。
- 4) 寄附金募集期間は来年度設置の場合を考え、今年の10月末までとなる。
- 5) 寄附金募集について、保護者・卒業生には告知している。
- 6) 目標金額は390万3000円とする。

・意見交換

委員 目標金額はどのくらい現実的な数値であるか。目標金額に届かなかった場合はどうなるのか。

学校 届いた範囲で整備ができるが、内容の3点と違うことを行うことは制度上できない。例えば、LED投光器を6機設置したいが、できなくても1機は設置することができる。

学校 学校の指定が無い場合は大阪府の寄附金となる。

委員 経験上、募金金額は開始直後に一気に集まるが、時間が経つにつれ、減っていく傾向である。そのため、寄附金募集について盛り上がりを図るものがあれば良いと思う。

委員 OBへの寄附金募集呼びかけに関しては、同窓会を頼っていかないといけないのではないか。

学校 学校をあげての取り組みになるよう、雰囲気の醸成に努力していく。